

+1 (プラスワン)

No.19

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-7-11
日本キリスト教団 東神戸教会牧師
2016年7月発行



週報アラカルト

牧師 横山順一

先回のFNH12教師会は、各教会の週報を持ち寄ろうとのことだった。UFO? いえ週報。

休んだ人もいたので、全部集まったのではなかったが、それでもおのおのの週報にオリジナルのカラーがあり、それぞれ違いが面白い深かった。

毎週、週報表紙のイラストを変えているところがあった。その日のは、二人が握手している絵だった。私には新鮮で、取り組みの姿勢に刺激されるところ大だった。

大方はA4を使用していたが、東神戸同様、B5のところも二教会あった。やはり高齢者対応だそう。

毎回使徒信条を告白するところもあれば、主の祈りは文語訳（一八八〇年訳）で固定化しているところも少なからずあった。聖書はだいたい一か所が多い。

時に説教題（メッセージ題）をつけない牧師もいるが、FNHではそれは見かけなかった。

ちよっと不思議だったのは、先の週の説教要旨をどこにも記載していないことだった。私はそれは良いことだと思っている。）

逆に当日のメッセージ要旨を載せているのは、わが東神戸が唯一で、これは密かに自慢だった。

今、説教原稿をホームページに毎週アップしている。本当は気恥ずかしいのだけど、先日或る女性から、体が不自由で教会に行けないけど、ホームページで先生の説教読んでいます。そこで教会と繋がっていた。嬉しかった。

耳の不自由な方のため、説教原稿を毎度印刷して渡しているという教会もあった。カラー印刷で年報を出しているところも。そのようにして皆、様々な工夫を凝らしているのだ。

一番驚いたのは、すべての教会の礼拝開始時間が午前十時三十分だったこと。

思えばそれは大変一般的な設定なのだった。私も東神戸に赴任するまで関わったすべての教会で、礼拝は十時三十分開始だった。

だから、実は二年目になっても、

いまだ十時四十五分開始に慣れていない。

と言うのは、メッセージを語っていて、ふと時計を見れば十一時半、チワツ、長々しゃべり過ぎた!とあせってしまうからだ。実際には慌てる必要はないのに。

カトリック教会では、基本どの教会を訪れても週報は同じである。式次第も統一されているし、ある意味安心感はある。

一方私たち日本キリスト教団、兵庫教区の中のFNHという小さな集団で、いずれも自由に週報を作り、礼拝を守っているのは、ささやかだが心地よい。

かつていた岐阜地区では、毎週末すべての教会の週報をFAXで交換していた。だから、どの教会で今週どんなことが行われるかなど、互いのスケジュールを全員で共有していた。小さな地区においては、それはカ1だった。

ふくしま・こうべ子どもプログラムなども通して、FNHの諸教会と共に歩めることに感謝している。拍手、否、握手!牧師だけでなく信徒の皆さんにもっと交流が広まると幸いだ。